

学校教育目標	<p>「生きる喜びを実感する第二小の子どもたち」子を育てます。 元氣 → 元気で明るく、のびのびと生活する子を育てます。 勇気 → 進んで自分を表現し、人とつながる子を育てます。 根気 → 問題解決に、根気よく努力する子を育てます。</p>		
学校概要	創立 47 周年	児童生徒数: 302 人	校長 菅原 久忠
	副校長 田中 和賀子	主な関係校: 港南台第一中学校 日野南中学校	
	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 4

<p>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</p> <p><心身ともにたくましく生きる力> <言語能力・コミュニケーション能力> <問題発見・解決能力></p>	<p>一中 フロック</p> <p>港南台第一中学校 港南台第一小学校 港南台第三小学校</p>	<p>小中一貫教育推進フロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間育てる子ども像」と具体的な取組</p> <p>子どもを育てる。</p> <p>・生活科や総合、社会科だけでなく、より多くの教科領域で「まち」に題材を求め、教材化するとともに、「まち」の先生、「まち」の教育力を活かした教育課程を工夫する。 ・思考力、判断力、表現力の育成を図る。一貫カリキュラムの運営、改善を図るために、特に中学校との相互授業参観を実施するとともに、各教科授業研究の場でも中学校教員との研究協議ができるよう交流を進める。</p>
---	--	---

<p>中期取組目標</p> <p>○子ども自身の有用感の育成と、まちとともに歩む学校づくりを目指します。 ・一人ひとりが安心して自分らしさを発揮し、互いを認め合おうとする力を育てます。 ・学んだことを活かして自ら問題を見つけ、よりよく解決していこうとする力を育てます。 ・地域学校協働本部や学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づいた開かれた学校を目指します。 ・教職員の指導力を高め、チームとして子どもを育てます。</p>

重点取組分野	具体的取組
<p>知 確かな学力</p> <p>徳 豊かな心</p> <p>体 健やかな体</p> <p>公開 地域連携</p> <p>いじめへの対応</p> <p>人材育成・組織運営(働き方)</p> <p>特別支援教育</p> <p>児童指導</p> <p>危機管理</p> <p>チーム二小</p>	<p>①学習問題の明確化を図り、子どもたちが自ら問題を追究・解決できる授業改善に取り組む。②子どもにとって身近な学習を大切にし、どの子どもにとっても楽しめ分かれやすい学習を実践する。③より多面的かつ個に応じた支援を展開するために教科担当制や算数科少人数指導等を行う。④読書の推進、ICT機器、学校図書館の活用・指導等により児童の学習意欲を高め、読解力・情報活用能力の育成を図る。</p> <p>①縦割り活動を通して異学年同士のつながりを築き、自他を大切にする心情を育てる。②Y-Popセンスメントを活用した支援検討会を実施し、個々の子ども課題の早期発見と「自分・仲間・集団づくり」に生かす。③地域等の身近な社会とつながる機会を大切に、体験を通して多様な人たちへの共感を育む。</p> <p>①年間を通して長縄跳び等に取り組み、体力の向上と運動を楽しむ態度を育てる。②子どもと教職員と保護者による学校保健委員会を開催する。③体力テストの結果等より課題を明確にし、日々の体育授業づくりや学校生活に活かす。④「食」に関する指導について全職員が連携し、推進を図る。</p> <p>①創立50周年を見据えて、子どもたちの「ふるさと意識」をより養い、自分たちのまちに関心をもち、そのよさを大切にしていく学習を進めていく。②子どもたちが地域とのつながりを意識し、自ら関わろうとする気持ちを持っていくために、学習との関連を図り、地域との連携による単元開発を進める。</p> <p>①いじめ防止対策委員会において児童の情報共有し、いじめの把握・点検・検証を毎月実施し、早期発見に努め、必要に応じて学校長をリーダーに担任や学年、児童支援専任からなる支援チームを構成し対応する。②「だれもが安心した学校生活を送ることができるよう」にするともに、自尊感情を高める集団づくりを進める。</p> <p>①メンターチーム等の学び合いの機会を大切にし、年代や経験を超えて切磋琢磨する研修を時間や場所にとらわれず設置し、教師力の向上に努める。②校務分掌等を効果的に進めていくために、一人で抱え込まず多様な経験や視点を尊重し様々な課題を「チーム」で取り組む。</p> <p>①生活・学習のユニバーサルデザイン化について研修を進め、どの子どもにも分かりやすい授業を目指す。②各教科や行事等を通して、一般級と個別支援級の子どもの交流学習を進める。③港南台ひの特別支援学校をはじめ通級指導教室といった学校外部機関との連携を深め、様々な相談や支援を行う。</p> <p>①児童支援専任を中心とし報告・連絡・相談を基本とした児童指導体制の確立と運用。②定期的な子どもたちの情報交換を行い、日常的な児童理解を兼ね教職員間で共有を図る。③「二小のきまり」を全教職員で共有し、指導方針の共通理解を図る。④生活目標、保健目標、給食目標を関連付けて指導し、子どもが主体的に取り組めるよう支援する。</p> <p>①熱中症や新たな感染症への対応をはじめ、事故やけがの未然防止や不祥事防止といった危機管理研修を行い、リスク回避への知見と個々の意識を高める。②火災・防犯・天災発生を想定した訓練を実施し、想定された状況をもとに危機に対処する行動を計画する。③管理職を中心とした報告・連絡・相談を基本とした対応体制の確立と運用。</p> <p>①学校運営協議会や地域学校協働本部を基本とした教職員、保護者、地域による持続可能な児童指導体制を構築する。②学校だより、ホームページ、学校説明会(報告会)等で学校運営協議会や地域学校協働本部による活動等を発信し、共通理解を図り層の連携が深まるよう努める。</p>